



Title	現代ピクトグラムにおける色の役割及び機能について
Author(s)	ヴィノグラードワ, ダリア
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2016, 2015, p. 65-70
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/57379
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

現代ピクトグラムにおける色の役割及び機能について

ヴィノグラードワ ダリア

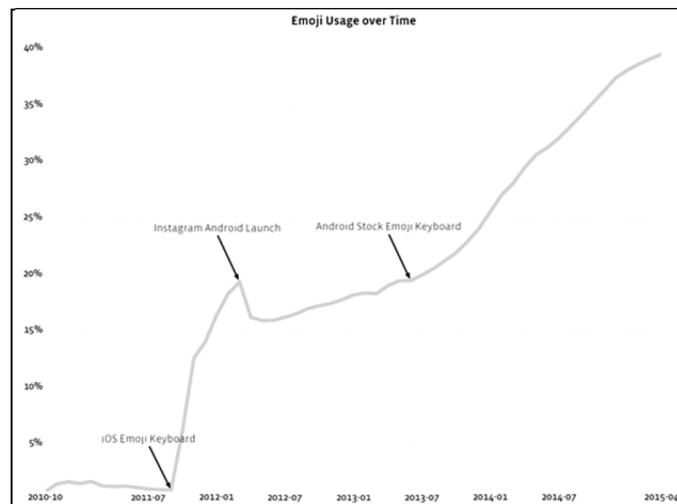
はじめに

2015年、オックスフォード辞典はその年の言葉として“嬉し泣き顔”の絵文字(😄)を決定した。これまでは、その年のイメージを表現し、頻繁に使われた言葉として単語が選ばれていたが、単語ではなくピクトグラムが選ばれたのは今回が初となる¹。

もともと携帯電話用の日本独特のシンボルとして造られた絵文字は、2010年にUnicodeに収録され、世界中に頻繁に使われるようになった。

2012年に、iOS絵文字キーボードの導入(iOS Emoji Keyboard)及びInstagram Androidの導入により、絵文字の使用件数が大幅に増加した。(グラフ1)

グラフ1 絵文字使用件数²



パソコンやスマートフォンの普及及び技術の発達により、画像の質も高くなり印刷上の制限もなくなってきた。

簡単な形のシンボルから発展した現代ピクトグラムは、多色で複雑な形のものも多くあり、技術的に無制限になったが、単純な形で白黒のピクトグラムも頻繁に使われる。

11月13日にパリで起きた同時多発テロを受けて、フランスのグラフィックデザイナーであるジェーン・ジュリアン(Jean Jullien)がピースマークとパリのエッフェル塔を掛け合わせたピクトグラムを創作した。そのピクトグラムは、ソーシャル・ネットワーク上

に続々と投稿され「パリのために祈る (Peace for Paris)」を意味するシンボルとして世界中に拡散された。ジェーンは、このピクトグラムの創作において、「イメージは言葉を超える。言葉によっては、人々の中の壁が高くなる恐れがある。一方で、イメージとは、言葉よりも先に頭の中で描かれているため、普遍的な感覚を相手に伝えることができる」と言及した³。

数秒でインクと筆で書かれた簡単な白黒のピクトグラムは、アイディアの表現力及び理解性が高い。そのピクトグラムが伝達するメッセージはピースマークとパリのエッフェル塔の組み合わせであり、世界中の人に容易に理解できる普遍的な形である。一方、現代技術を生かし、新しい機能及び表現方法を持つピクトグラムも少なくなく、様々な方法で情報を伝達するものが多い。

本研究では、現代ピクトグラムにおける色に焦点を当て、その役割及び機能について考察したい。



ピクトグラムにおける色の必要性について

Horton (1994) によると、各ピクトグラムは、以下の構成を有する。

$$\text{graphic} = \text{message} + \text{enablers} + (\text{noise})$$

1. Graphic (グラフィック) とはピクトグラムそのものである。
2. Message (メッセージ) は情報を表すメッセージと感情を体験させるメッセージに分類される。
3. Enablers は、ピクトグラムの有用性・信頼性を向上させる役割を果たす。
4. Noise は、望ましくない現象であり、理解の妨害になる。

また、一つのピクトグラムでは、メッセージが幾つかの方法で伝達されることがある。



「STOP」というピクトグラムは、その例の一つである。「禁止」という意味は、様々な言語にある STOP という言葉で表現されている。また、赤い色は警告・禁止の意味を有し、メッセージを伝達するもう一つの方法である。

このピクトグラムでは、色が message であるが、適用方法及び対象により enabler または noise になる可能性もある。

ピクトグラムにおける色の役割について、Horton (1994) が次のように述べている。

In the design of icons, color plays a somewhat ambiguous role. Used properly,

color can communicate. Used carelessly, it can confuse. Color can make the message clear or hopelessly opaque. It can delight and entertain, or distract and annoy. Color can make the most important information pop out, or it can make everything illegible. The effect of color depends entirely on where and how you use it⁴.

Horton (1994)は、色使用の目的として以下のものを挙げる：

1. 注目させる
2. 情報検索を促進させる
3. ピクトグラムを認識させる
4. ピクトグラムを識別させ整理する
5. 位置づけをする
6. 色を表す
7. ユーザの興味を引く
8. 感情を体験させる

スマートフォンで使われる絵文字を視野に入れ、色の機能を考察しよう。

顔や人間を表す絵文字における人種多様性の問題

絵文字の中では、顔を表すものが多くあり、使用頻度も高い。Matthew Rothenbergは、2013年にツイッターのユーザで使われる絵文字を登録するEmojitracker¹というオンラインシステムを開発し、絵文字をリアルタイムで計算することができるようになった。

そのプログラムが使い始められたのは、2013年7月4日であり、現在までに使用された絵文字使用の総数はおよそ14,000,000,000回である。

トップ100に入る絵文字の中では、顔や人を表すものは半分以上である。日本に生まれた絵文字は、顔を表すものがもともと黄色で人種の特徴を持っていなかったが、絵文字が世界中に普及し様々な国の人がそれを積極的に使用するようになり、絵文字の人種多様性が話題になった。

2015年には、多数の新しい絵文字と同時に人間や手・足を対象に肌の色調を変える機能が導入された。

色調の変換が以下のように行われる(図1)。

図1



色調の基準は肌の濃淡を表す「フィッツパトリックのカラー標準」⁵に基づいており、ユーザの人種多様性を考慮する（表1）。

表1

Code	Name	Samples
U+1F3FB	EMOJI MODIFIER FITZPATRICK TYPE-1-2	 
U+1F3FC	EMOJI MODIFIER FITZPATRICK TYPE-3	 
U+1F3FD	EMOJI MODIFIER FITZPATRICK TYPE-4	 
U+1F3FE	EMOJI MODIFIER FITZPATRICK TYPE-5	 
U+1F3FF	EMOJI MODIFIER FITZPATRICK TYPE-6	 

ユーザが絵文字を入力するとき、肌の色の選択によりメッセージを擬人化することができる。つまり、比較的ニュートラルな黄色の代わりにユーザに合う肌の色が選択され、個人的な特徴を表現し、絵文字がもう一つのレベルで情報を伝えるようになる。

漢字を含む絵文字

以下の絵文字は、赤い背景に白い漢字が書かれているグループに入っている。



（背景：赤、文字：白）

日本に使いはじめられた絵文字の中には、漢字が比較的に多くあるが、絵文字が世界中に普及し他言語の人に使われるようになったが、日本及び日本語関係の文字が残っており、非漢字文化圏の人により様々なパターンに使用されている。

Emojitracker の計算データから明らかなように、上述の絵文字の使用頻度は高くないが、その絵文字が使われるメッセージの内容には共通性が見られる。

上述した STOP のピクトグラムと同様にその絵文字では、情報が二つの方法で伝達される。漢字は文字通りの意味を伝え、赤い色はその意味に注目させる役割を果たす。Emojitracker に収録されているメッセージから明らかなように、漢字理解の有無によりその絵文字の使用方法が異なり、漢字文化圏及び非漢字文化圏の人のメッセージの内容には大きな相違が見られる。

漢字文化圏の人のメッセージでは、絵文字の漢字の意味が主の役割を果たしている。例えば、 という絵文字は、合格関係のメッセージに数多く見られる（図2）。

図 2



また、非漢字文化圏の人のメッセージを見ると、理解できない漢字の意味が無視され、絵文字の機能が色に限られる。(図 3)

図 3

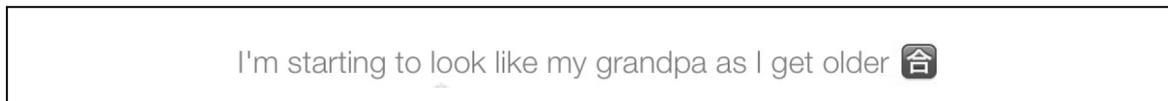
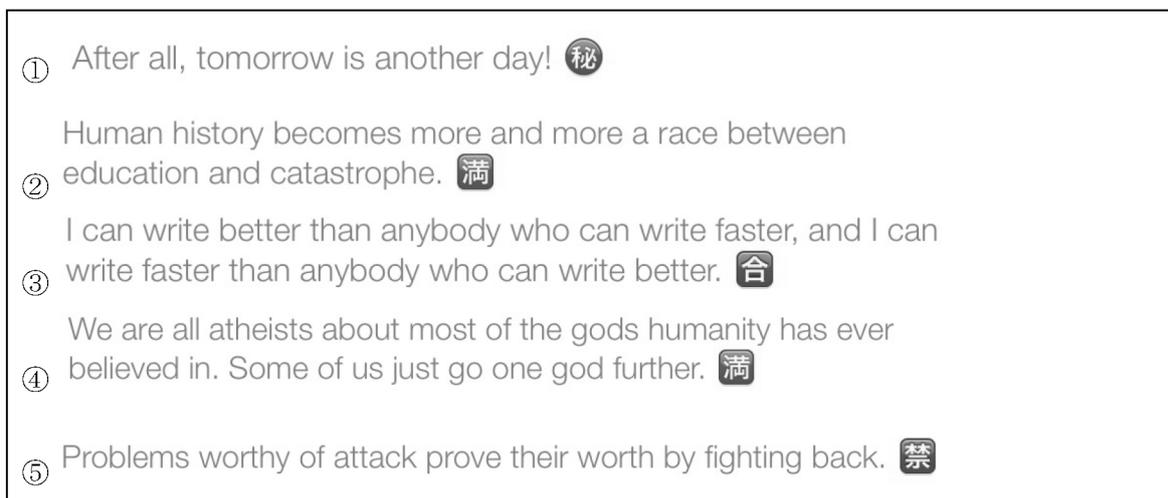


図 3 のメッセージでは、👍の絵文字が、メッセージの内容に注目させ、書いた人の感情を表す役割を果たし、もともとの「合格」という意味を伝達しない。

以下の例から理解できるように、👍🚫🔒🎉👍などの絵文字も共通性のあるコンテキストに使われている (図 4)。

図 4



メッセージの内容は様々であるが、絵文字の役割には共通性が見られる。①-⑤のメッセージは、慣用表現、考え方や感想を表すフレーズであり、文字の色が注意喚起や感情表現の機能を有するが、漢字の選択には偶然性が見られる。

おわりに

肌の色調が変換できる絵文字及び漢字を表す紅白の絵文字の例から明らかなように、色の役割において幾つかの違いが見られる。顔や人間を表す絵文字では、肌色の変換により、絵文字に含まれる新しい意味が生まれ、メッセージの内容がもっと豊かになり、ユーザの個性を表現するようになる。それに対し、漢字の絵文字は非漢字文化圏の人に使用される場合は、もともとその絵文字に含まれる二つのメッセージの中から一つしか残らなくなり、漢字文化圏の人と異なるパターンに使われるようになる。その結果、色が手がかりになる場合は、色だけでの判断が間違った解釈につながる可能性が高い。また、その例から明らかになるように、違う文化背景の人は、同じようなピクトグラムに違う機能を与える。

技術の発展により、表現方法では制限が殆ど残っていない。画面の質、簡単な入力方法などが、表現方法の豊かさを生み出す。新しい技術は、伝達される情報を深めることもあるし、逆に誤解の原因となる。

¹<http://blog.oxforddictionaries.com/2015/11/word-of-the-year-2015-emoji> (2015年11月28日アクセス)

²<http://instagram-engineering.tumblr.com/post/117889701472/emojineering-part-1-machine-learning-for-emoji> (2015年11月25日アクセス)

³<http://wired.jp/2015/11/16/peace-for-paris/> (2015年12月3日アクセス)

⁴Horton, William. The icon book: visual symbols for computer systems and documentation. Wiley, 1994

⁵ www.unicode.org/reports/tr51/tr51-2.html (2016年3月29日アクセス)